

# 令和7年春のスギ花粉予報

県内のスギ花粉発生量は “ 平年の1.8倍 ” の見込み

## 【調査機関】

静岡県 農林技術研究所 森林・林業研究センター

## 【調査時期】

令和6年11月22日～29日（内、6日間）

## 【調査箇所】

県内30箇所のスギ林

## 【調査方法】

スギの雄花が成熟し黄色みを帯びて色が変わり、葉との区分が容易となる11～12月に、県内のスギ林の雄花着花状況を目視により調査観察し翌年春の花粉発生量を予測。

## 【調査結果】

- ・ 形成された雄花の量（全県の平均）は、平年（平成26年度から令和5年度までの直近10年間の平均）に対して1.8倍であった。
- ・ 花粉の本格的な飛散開始時期は、1～2月の気温に影響されるが2月中旬頃から。

## 【花粉発生メカニズム】

- ・ スギは、雄花と雌花を別々に着ける。花粉の発生源となるのは雄花である。
- ・ 雄花は7月ごろから形成され始め、成熟後、翌2～3月に花粉を飛散。
- ・ 1つの雄花につき、約40万個の花粉が含まれる。

※ 詳細は別添資料を参照



写真-1 スギ林調査の様子

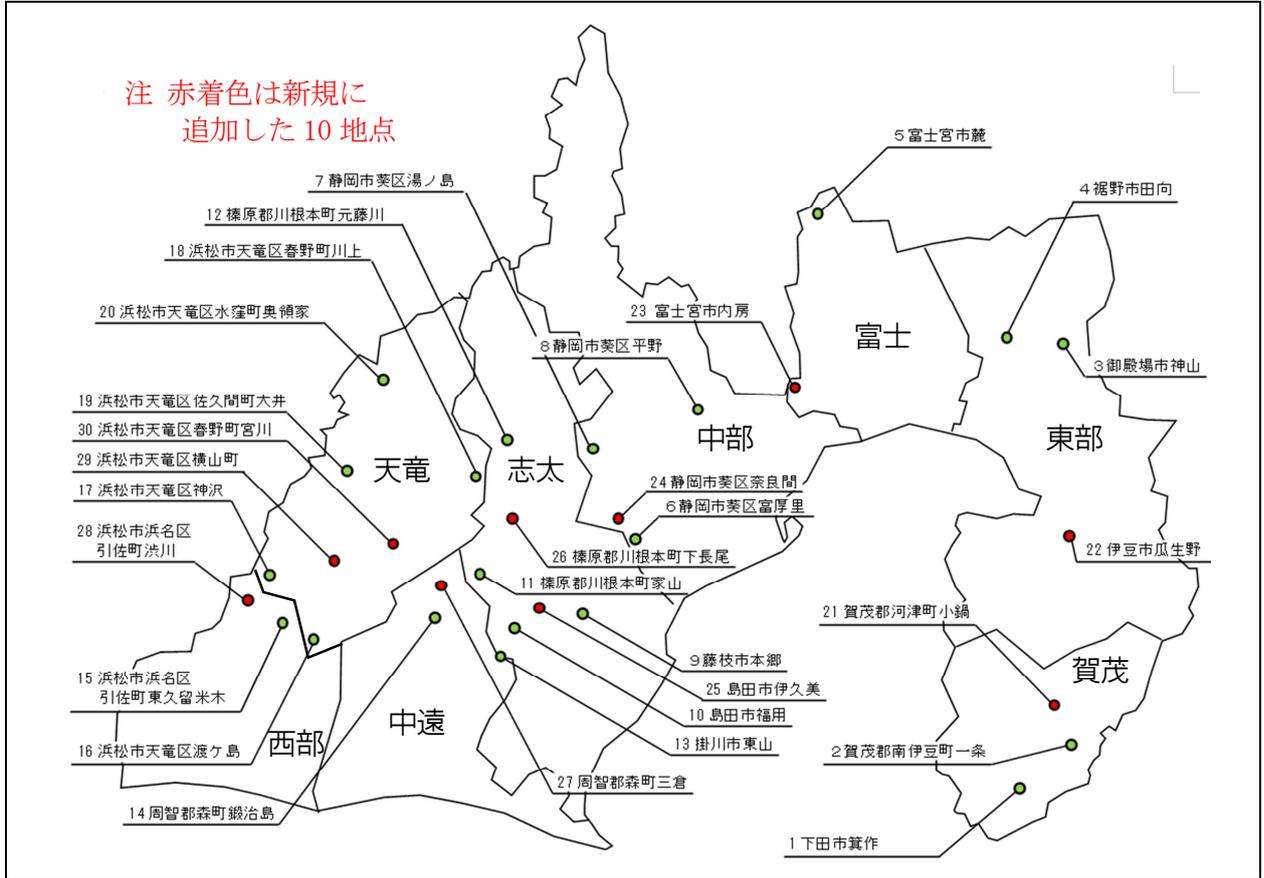


写真-2 成熟した雄花

【調査方法と分析】

- 調査は、令和6年11月22日～29日までの期間に、県内各地のスギ林30箇所（定点）を観測した。（図－1）  
 （本年度は、既往の20箇所に加えて、新たに10箇所の定点を設けて、合計30箇所を調査した。）

図－1 調査箇所



各スギ林では、それぞれ40本のスギの木を無作為に抽出（ただし林縁の木は避ける）し、順次、双眼鏡により雄花の着花状況を観察し、表－1の評価基準に基づいて1本ごとに4段階で評価した。判定の個人差を抑えるため、調査は必ず複数人で行う。

表－1 スギ雄花着花状態の評価基準

評価	判定基準	配点
A	雄花が樹冠の全面に密についている	100
B	雄花が樹冠のほぼ全面についている	50
C	雄花が樹冠にまばらに、または樹冠の限られた部分についている	10
D	雄花が観察されない	0

- 複数人で調査した合計本数（例：2人の場合は80本）を40本分に換算し、箇所ごとの合計値「スギ雄花の着花指数」（最大：100×40本＝4,000）を求める。結果は表－2のとおり。  
 ※ 着花指数は、その林の実際の花粉生産量と強い相関があることが分かっている。

表－２ 令和６年度の静岡県内のスギ雄花着花状況

地 域	調査箇所数	調査本数	A	B	C	D	雄花の着花指数
賀 茂	3 (+1)	240	30%	45%	25%	0%	2,207
東 部	3 (+1)	240	18%	65%	17%	0%	2,093
富 士	2 (+1)	160	17%	66%	17%	0%	2,068
中 部	4 (+1)	320	12%	69%	17%	2%	1,948
志太榛原	6 (+2)	480	27%	46%	20%	7%	2,062
中 遠	3 (+1)	240	15%	52%	30%	3%	1,768
西 部	2 (+1)	160	21%	48%	29%	2%	1,905
天 竜	6 (+2)	480	21%	49%	26%	4%	1,913
全 県	30 (+10)	2,400	21%	53%	23%	3%	1,931

注) 調査箇所数の( )は今年度追加した箇所数。

注) 雄花の着花指数は、箇所(40本換算)ごとの平均値。

- 調査木のうち、97%の木(A+B+C)で雄花を確認、そのうち、76%の木の樹冠のほぼ全面に雄花がついていた((A+B)/(A+B+C))。
- 直近10年間(平成26年度から令和5年度)の雄花の着花指数の平均値(1,050.3)と比較。

(昨年度までは、過去10年間(平成15年度から平成24年度)の平均値(955.5)を100として各年の相対値を求め、各年の差から5段階の相対評価「多い」「少ない」等により判定していたが、今年度より、数値情報の公表に変更した。)

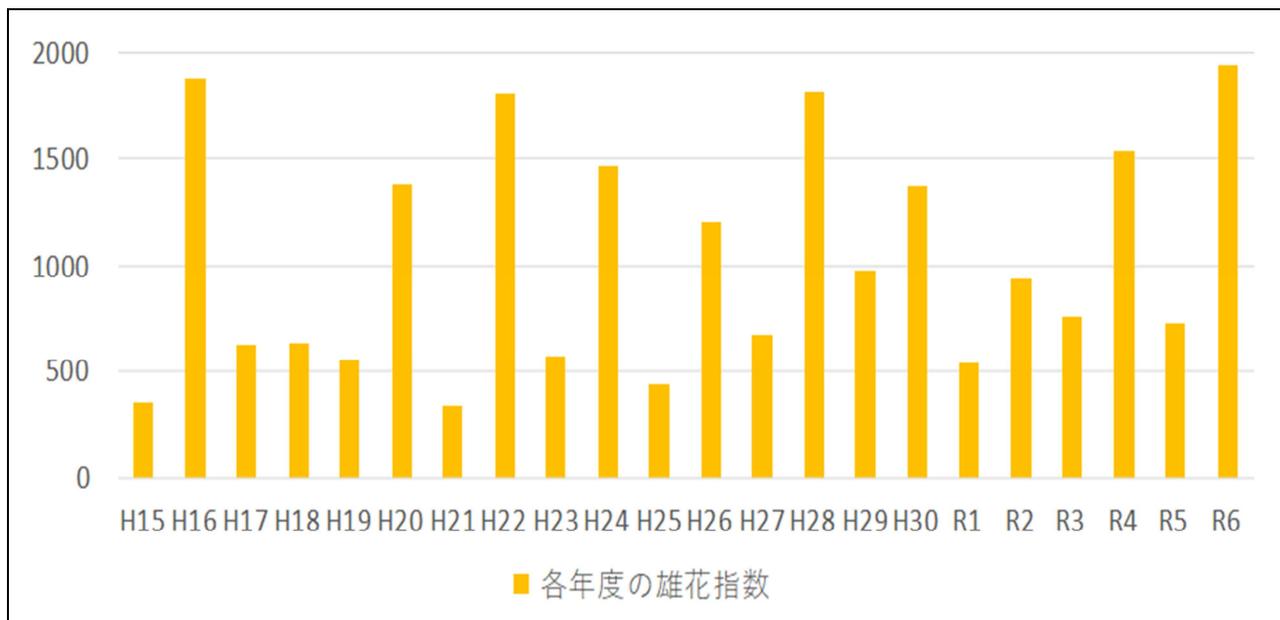
令和7年春のスギ花粉の発生は、雄花の着花指数が1,931.0であり、平年値1,050.3と比べて1.8倍である。(表－3、図－2)

表－3 近年の雄花着花指数一覧

- 昨年度(令和6年春)と比べると2.7倍となる。(表－4)

年 度	雄花の着花指数	平 均
H26	1,194	1,050.3
H27	675	
H28	1,810	
H29	978	
H30	1,366	
R 元	542	
R 2	938	
R 3	750	
R 4	1,531	
R 5	719	
R 6	1,931.0	

図－2 スギ雄花の着花指数の経年変化



表－4 箇所ごとの平年比

1	下田市箕作	2.3倍	16	浜松市天竜区渡ヶ島	1.9倍
2	南伊豆町一条	2.8倍	17	浜松市天竜区神沢	2.0倍
3	御殿場市神山	2.2倍	18	浜松市天竜区春野町川上	1.5倍
4	裾野市田向	1.8倍	19	浜松市天竜区佐久間町大井	1.5倍
5	富士宮市麓	2.1倍	20	浜松市天竜区水窪町奥領家	1.8倍
6	静岡市葵区富厚里	2.1倍	21	(新) 賀茂郡河津町大鍋	1.3倍
7	静岡市葵区湯ノ島	1.8倍	22	(新) 伊豆市瓜生野	1.9倍
8	静岡市葵区平野	1.7倍	23	(新) 富士宮市内房	1.9倍
9	藤枝市本郷	2.8倍	24	(新) 静岡市葵区奈良間	1.7倍
10	島田市福用	1.9倍	25	(新) 島田市伊久美	2.5倍
11	島田市川根町家山	2.2倍	26	(新) 榛原郡川根本町下長尾	1.7倍
12	榛原郡川根本町元藤川	0.7倍	27	(新) 周智郡森町三倉	0.7倍
13	掛川市東山	0.7倍	28	(新) 浜松市浜名区引佐町渋川	1.9倍
14	周智郡森町鍛冶島	1.9倍	29	(新) 浜松市天竜区横山町	1.9倍
15	浜松市浜名区引佐町東久留米木	1.7倍	30	(新) 浜松市天竜区春野町宮川	2.1倍
県内 30 箇所の平均					2.7倍